

重点的に取り組む課題と目標

テーマ：地域の集う場の創出

【課題・背景】

コロナ禍で日常生活に制限が続いてきた中で高齢者のフレイルのリスクが懸念される。身近な地域で集える場は社会資源として重要だが集える場が不足している地域もある。また、認知機能が低下した高齢者の通いの場の創出やコロナ禍の影響で休止している認知症カフェの再開についても検討が必要である。

【目標】

地域住民や第2層生活支援コーディネーターとの協働により地域の集う場を創出する。

目標を達成するための活動計画

- ・地域介護予防教室やサロンなど集える場の社会資源が不足している地域について、第2層生活支援コーディネーターと協働して課題を共有して具体的な取り組みについて検討の機会を持つ。

- ・コミュニティセンター・つむぎ館と共同で認知症予防に向けた定例会を開催。元気チェック開催日に合わせて脳トレなど考慮したレクリエーションを行う。つむぎ館、介護予防リーダーなど地域住民と相談しながらの共同開催を行い、認知機能の低下した高齢者の通いの場を創出する。

- ・コロナ禍の影響で休止している認知症カフェについて、再開に向けて場所の課題があるが、以前から支援してくれているボランティアからの再開希望の声があがっていることもあり、今年度はボランティアからの意見も聴取し再開に向けての検討をすすめていく。

【令和5年度】地域包括支援センター重点目標 認知症地域支援推進員アクションプラン

(北部包括)

月	日時	取組	内容
4	4/26 13～15:30	①つむぎ館元気チェック・つむぎ館と共同の認知症予防定例会（脳トレサークル） ②第五エリアのサロン訪問。	①定期的な元気チェックで市民の方々との交流により認知症疑いの方の早期発見、対応を行う。介護予防リーダー等と相談し、地域住民との共同開催を行い、認通の場を設けることを目的とする。 ②第五エリアのサロン訪問し、認知症等についての身近な相談窓口である包括センターの案内を実施していく。
5	5/17 10～11:30 5/19 15～16:30	かえで館元気チェック 認知症カフェ	定期的な元気チェックで市民の方々との交流により認知症疑いの方の早期発見、対応を行う。 当事者・家族の憩いの場
6	6/2	認知カフェ再開に向けての情報収集	コミュニティプレイスあたと今後認知症カフェを共催で行うための話し合い開始。
7	7/12 13～15:30 7/21 15～16:30	つむぎ館元気チェック・つむぎ館と共同の認知症予防定例会（脳トレサークル） 認知症カフェ	定期的な元気チェックで市民の方々との交流により認知症疑いの方の早期発見、対応を行う。介護予防リーダー等と相談し、地域住民との共同開催を行い、認通の場を設けることを目的とする。
8 ※中間報告	8/8 14～15:30	愛宕支所元気チェック	定期的な元気チェックで市民の方々との交流により認知症疑いの方の早期発見、対応を行う。
9	①9/29 13:30～ ②9/12 13:30～14 ③9/15	①つむぎ館認知症講座 ②愛宕アーケードカフェ認知症講座 ③認知症カフェ	①つむぎ館との協賛により認知症講座を開催する。地域の方への普及啓発を目的とする。 配食業者向けに認知症サポーター養成講座を開催し高齢者の見守り体制強化へ役立てる。 ②食と認知症予防についての関係の講座を開催する。
10	10/11 13～15:30	①つむぎ館元気チェック・つむぎ館と共同の認知症予防定例会（脳トレサークル）	定期的な元気チェックで市民の方々との交流により認知症疑いの方の早期発見、対応を行う。介護予防リーダー等と相談し、地域住民との共同開催を行い、認通の場を設けることを目的とする。
11	11/15 10～11:30 11/15 15～16:30	かえで館元気チェック 認知症カフェ	定期的な元気チェックで市民の方々との交流により認知症疑いの方の早期発見、対応を行う。
12 ※評価			
1	①1/24 13～15:30 ②1/19 15～16:30	①つむぎ館元気チェック・つむぎ館と共同の認知症予防定例会（脳トレサークル） ②認知症カフェ	6月以降の進捗状況の報告。次年度再開に向けての検討。
2	2/13 14～15:30	愛宕支所元気チェック	定期的な元気チェックで市民の方々との交流により認知症疑いの方の早期発見、対応を行う。
3			